



DUCTILE TIMES

50年前の1969年7月20日、この日人類は、はじめて月に降り立ちました。宇宙船の運行には、大量のデータを監視・制御するシステムが必要でした。集積回路の基礎研究が最も進んだのは、アポロ計画だといわれています。その他、UVカットやデジタルカメラなどの技術も、アポロ計画の中で飛躍的に発展しました。

飽くなき探求心が科学の発展を牽引しました。人類の探求心は止めることはできません。これからは、さらに未来の人類を守るため、好奇心や探求心を使っていきたいものです。 DUCTILE TIMES編集部

お知らせ

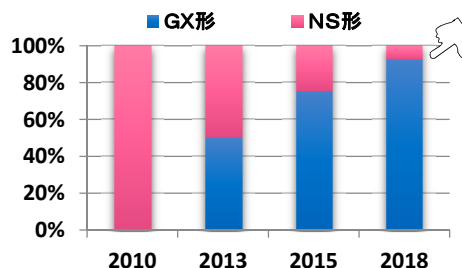
NS形をGX形に変更される事業体様が増えています

2019年4月に呼び径350が登場したGX形ダクタイル鉄管。従来のNS形に比べ、経済性、長期耐久性、施工性が優れているGX形を選ばれる事業体様が増えています。

より強靱な水道管網の構築にGX形はその力を大に発揮いたします。

GX形へのご変更をぜひご検討ください。

GX形とNS形の出荷量割合の推移
(弊社出荷量ベース、呼び径75~400)



Point1 経済性

初期工事費

ライフサイクルコスト

いずれのコストもGX形の方が安価

Point2 長期耐久性

- ・GX形の外面には、部分的に鉄部が露出しても耐食層の自己防食するC-Protectを採用
- ・山地を除く国土の95%で100年以上の長期耐久性を期待できます

外面耐食塗装 C-Protect

Point3 施工性

・直管・異形管の施工性向上、及び切管ユニットの採用により施工が楽になりました

直管	異形管	切管ユニット
挿入力がNS形の約1/3に低減	トルク管理不要のメタルタッチ	溝切加工などの作業が不要になるため、施工時間が短縮

実際にNS形からGX形に変更された事業体様のお声



北海道
美唄市 都市整備部
上下水道課 事業係
主任 高橋剛 様

当市の水道事業では、平成23年度にGX形の呼び径200を採用し、水道配水管を更新しましたが、それ以降は、呼び径350の更新が中心であったため、NS形とK形を併用してまいりました。今年度から呼び径350のGX形が生産されるようになり、工事費を比較したところ、NS形やK形より安価となりました。

さらに、外面にはC-Protect塗装が施されているため、これまで以上に長期耐久性が期待でき、LCC面でも有利となることから、今後は当水道事業においても、ダクタイル鉄管の更新は、原則的にGX形を採用することとしました。

昨年度の美唄市上下水道協会主催の講習会において、GX形の配管研修を受講し、施工性の向上を確認しました。今後のGX形ダクタイル鉄管による美唄市水道事業への貢献を期待しています。



兵庫県
神戸市 水道局
事業部 配水課
配水係長 西馬義和様

阪神・淡路大震災での教訓から、神戸市では、水道施設の耐震化を重点的に進めています。

配水管の耐震化にあたっては、これまでNS形を採用してきましたが、長期耐久性に優れるGX形は、「NS形と比べ経済性でも優位性あり」という評価に至りました。そこで、昨年度の試験的採用を経て、今年度から本格採用することにしました。

これまでのNS形よりも施工性が向上していることから、水道管の更新率の向上に寄与してくれるものと期待しています。また、近隣の事業体でもGX形が採用されていることから、緊急時の相互扶助の面でも安心感があります。

GX形ダクタイル鉄管は、震災を経た神戸の水道をより強くし、未来につないでいくための重要な鍵になると考えています。

ご協力いただきありがとうございました。